

疾病の成り立ちと回復の促進

専門基礎分野

授業科目	運動することと感覚の病を見る	講師	氏名	①福元智子 ②久保利江子 ③安部信一	開講年次	1年次 後期	単位・時間 1単位 30時間
			所属	①②病院 ③専任教員			
			実務経験	①②医 師 ③臨床看護師			
科目のねらい	運動器・感覚器疾患の代表的な疾患を中心に、その原因、病態生理、特徴的な検査、治療などを学習し、臨床看護に必要なアセスメント能力を身に付ける。						
到達目標							
知識・技術	1. 運動器・感覚器障害が出現するメカニズム及び原因を理解し、説明できる。 2. 運動器・感覚器疾患に対する検査、治療の目的を理解し、説明できる。 3. 運動器・感覚器疾患から起こりうる合併症や予後について理解し、説明できる。						
思考判断・表現	1. 各器官についての知識を活用し、マインドマップを作成することができる。 2. 運動器・感覚器障害に伴う症状が、日常生活にどのような影響を与えるかを看護の視点から検討できる。						
主体的学習態度	1. 講義において積極的に質問し、理解しようと努力する行動がみられる。 2. 各疾患の病態生理についてテキストを活用し、調べることができる。 3. 主体的に予習・復習を行うことができる。						
科目評価	定期試験(筆記) 80% 課題20% 合計100%						
テキスト	ナーシンググラフィカ 健康の回復と治療⑦ 疾病と治療 (メディカ出版)						
参考文献	ナーシング・グラフィカ 疾病と看護⑦ 運動器 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑤ 運動機能障害 (メディカ出版)						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	運動器系の病態生理とその症状	○			福元智子	からだの構造 からだの機能 日常生活から見るからだ 治療学総論 病理学総論 臨床薬理学	事前課題①：「包帯法」 課題②：マインドマップ
2	骨折による疾患	○					
3	1) 大腿骨頸部骨折 2) 大腿骨骨幹部骨折 3) 脊椎骨折	○					
4	4) 上肢・下肢の骨折 5) 鎖骨骨折 6) 胸腰椎骨折	○					
5	腰痛症 1)	○					
6	椎間板ヘルニア 2) 腰部脊柱管狭窄症 検査) ミエログラフィー	○					
7	脱臼・捻挫・骨粗しょう症・骨腫瘍の病態生理とその治療	○	○		安部信一		
8	(ギブス療法・保存療法を踏まえて、看護師に必要な情報収集を実践)	○	○				
9	運動器系を看るとは？			○			
10	眼疾患の病態生理とその症状 1. 視覚障害 1) 白内障 2) 緑内障 3) 網膜剥離 2. 屈曲の障害 1) 近視 2) 乱視 3) 弱視	○			安部信一	課題③：マインドマップ	
11	耳鼻科咽喉科疾患の病態生理とその症状 1) 滲出性中耳炎	○					
12	メニエール症候群 2)	○			久保利江子	課題④：マインドマップ	
13	皮膚疾患 病態生理とその症状 1) 表在性皮膚疾患 2) 接触性皮膚炎 3) 陥入爪 4) 白癬症 5) 疥癬 6) 帯状疱疹 7) 物理化学的皮膚障害：熱傷	○					
14		○					安部信一
15	感覚器を看るとは？	○					